

藤岡市国民健康保険
保健事業実施計画（第2期データヘルス計画）

（計画期間 平成30年度～平成35年度）

平成30年3月

藤岡市

目 次

序章 計画策定にあたって	1
1 背景及び趣旨	1
2 データヘルス計画の概要	1
(1) 基本的考え方	1
(2) 他計画との関連	1
(3) 計画期間	1
(4) 計画の見直し	1
第1章 藤岡市の現状	3
1 市の概要	3
2 保健事業の状況	7
第2章 健康課題の抽出	10
1 医療費の状況	10
2 特定健康診査等の実施状況	14
3 糖尿病の罹患患者数と健診受診状況について	17
4 特徴と対策の方向性	18
第3章 計画の目的・目標	21
1 目的	21
2 目標	21
第4章 保健事業の実施計画	22
各種個別事業の実施計画	22
第5章 保健事業計画（データヘルス計画）の公表・周知	24
第6章 事業運営上の留意事項	24
第7章 個人情報の保護	24

序章 計画策定にあたって

1 背景及び趣旨

平成25年6月に閣議決定された「日本再興戦略」では、国民の健康寿命の延伸を重要施策と位置付けており、これを実現するために、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく被保険者の健康増進のための事業計画として、「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取り組みを求めるとともに、市町村国保が同様の取り組みを行なうことを推進する。」とされ、保険者はレセプト等を活用した保健事業を推進することとされました。また、個人の健康保持増進に対して、保険者、企業、自治体等がそれぞれの立場から一定の役割を果たすべきことがうたわれています。

藤岡市においては、平成28年に第1期データヘルス計画を策定し、特定健診やがん検診の実施など、さまざまな保健事業を実施してきました。今後はさらなる被保険者の健康保持増進に努めるため、市の保有するデータを活用し、それぞれの段階にあった事業を展開することとします。

また、前回の第1期データヘルス計画においては、健康診断受診率の目標値を高めに設定していましたが、伸び率は思わしくなく、目標値も現実的ではない部分もあったため、第2期データヘルス計画ではより現実的な数値を目標に置き、さらには第2期データヘルス計画を指標として各事業を効果的かつ効率的に実施することで、被保険者の健康増進、ひいては長期的な医療費適正化を目指します。

2 データヘルス計画の概要

(1) 基本的考え方

この計画は、健康・医療情報を活用したデータ分析やこれまでの保健事業の評価分析を行い、これに基づいた効果的かつ効率的な保健事業を実施します。

(2) 他計画との関連

この計画は、第3期藤岡市特定健康診査等実施計画（平成30年度から平成35年度）等、本市の各種計画と群馬県医療費適正化計画と十分な整合性を図ります。

(3) 計画期間

平成30年度から平成35年度（6年間）

(4) 計画の見直し

目的を実現させるためには、PDCAサイクル（事業を継続的に改善するため、Plan（計画）－Do（実施）－Check（評価）－Action（改善）の段階を繰り返すことをいう。）に沿った事業運営が重要となります。

◆Plan（計画）

これまでの保健事業の振り返りとデータ分析によって現状を把握、整理し、加入者の健康課題に応じた事業を計画します。

◆Do（実施）

費用対効果の観点を考慮し、計画に沿った事業を実施します。

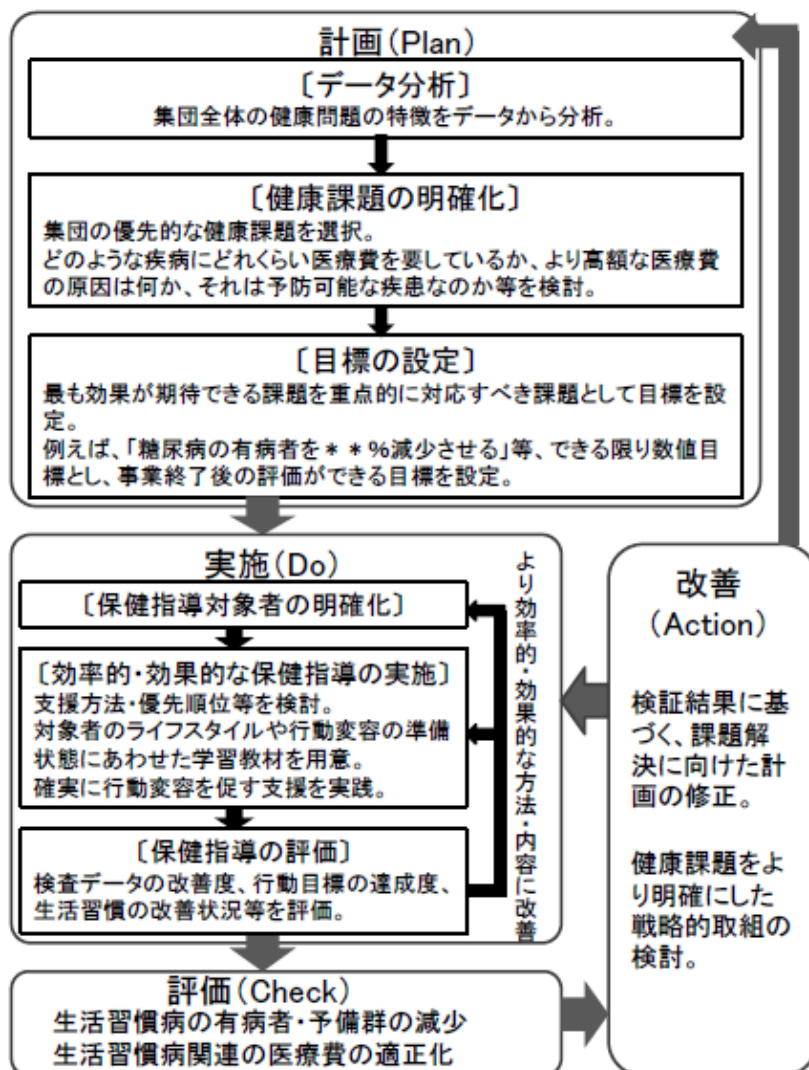
◆Check（評価）

計画に沿った事業運営ができているかなど、客観的な指標を用いて評価します。短期での効果を評価する指標（アウトプット）と、中長期の指標（アウトカム）を設定します。

◆Action（改善）

評価結果に基づき、単年度毎に事業の改善を図ります。合わせて、データヘルス計画自体も評価に基づき見直しを行います。

○保健事業（健診・保健指導）のPDCA サイクル



出典：厚生労働省 標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】

第1章 藤岡市の現状

1 市の概要

藤岡市の人口は減少傾向にあり、国保世帯数及び被保険者数も同様に減少しています。

また、人口に対する高齢化率と65歳以上の国保加入率が高く、出生率が低いため、今後さらに高齢化率が高くなります。

○藤岡市全体及び国保被保険者数と特定健診等実施率（H28年度）

保険者名	藤岡市
人口	66,564人
国保被保険者	17,618人
特定健診実施率（平成28年度法定報告値）	33.5%
特定保健指導実施率（積極的支援）（平成28年度法定報告値）	13.0%
特定保健指導実施率（動機づけ支援）（平成28年度法定報告値）	25.8%

○藤岡市の保健事業に関する体制

保健事業に関連する体制		医療関係職員数	
		常勤	非常勤
保険年金課	国保係	0	0
健康づくり課	健康増進係	保健師5名 管理栄養士1名	0

産業構成率は第3次産業が半数を占めていますが、第2次産業に従事する割合が同規模平均と比較し高くなっています。また、高齢化率が高く出生率が低いことから、今後更に高齢化が進行していくことが懸念されます。死因としては、がんが同規模平均と比較し高いことがP4表中よりうかがえます。

○群馬県、同規模市町村、国との基本データ比較（H28 年度）

	人口総数（人）	高 齢 化 率（65 歳以 上）（％）	国保被保険者数 （加入率％） （人）	国保被 保険者 平均年 齢（歳）	出生率 （人口 千対）	死亡率 （人口 千対）	財政 指数	産業構成率（％）		
								第 1 次	第 2 次	第 3 次
藤岡市	66,564	28.7	17,618 (26.5)	52.6	6.0	11.3	0.6	5.2	36.2	58.6
群馬県	1,956,690	27.6	513,975 (26.3)	51.5	7.3	11.0	0.6	5.5	31.8	62.6
同規模	68,194	27.9	16,593 (24.3)	52.8	7.8	10.9	0.7	6.1	28.9	65.1
国	125,640,987	26.6	32,043,764 (26.0)	50.7	8.0	10.3	0.5	4.2	25.2	70.6

※人口と高齢化率については、藤岡市住民基本台帳による（H28 年）

■（参考）死因で割合が高いもの

＝ 死亡の状況 ＝（藤岡市がより高い数値には☆印）

H28 年度			藤岡市	同規模市（平均）	県	国
死 亡 の 状 況	死 因	がん	☆50.6%	48.1%	47.4%	49.6%
		心臓病	23.4%	27.1%	28.3%	26.5%
		脳疾患	☆17.8%	16.5%	16.0%	15.4%
		糖尿病	1.8%	1.9%	1.8%	1.8%
		腎不全	3.1%	3.3%	3.3%	3.3%

H27 年度			藤岡市	同規模市（平均）	県	国
死 亡 の 状 況	死 因	がん	☆49.3%	47.5%	47.4%	49.0%
		心臓病	23.5%	27.1%	26.7%	26.4%
		脳疾患	☆17.9%	16.7%	17.1%	15.9%
		糖尿病	1.1%	1.9%	1.9%	1.9%
		腎不全	3.4%	3.4%	3.0%	3.4%

H26年度			藤岡市	同規模市(平均)	県	国
死亡の状況	死因	がん	☆50.1%	46.7%	46.3%	48.3%
		心臓病	22.4%	27.2%	26.5%	26.6%
		脳疾患	15.5%	17.2%	17.8%	16.3%
		糖尿病	☆6.2%	2.0%	2.6%	1.9%
		腎不全	3.5%	3.5%	3.0%	3.4%

＝ 生活習慣改善意欲なしの方の割合(%) ＝

	藤岡市	同規模市(平均)	県	国
H28年度	46.7%	31.5%	37.7%	30.9%
H27年度	47.2%	32.0%	38.5%	31.0%
H26年度	48.3%	41.5%	34.1%	33.5%

＝ 高血圧で服薬中の方の割合(%) ＝

	藤岡市	同規模市(平均)	県	国
H28年度	36.8%	34.4%	35.6%	33.7%
H27年度	35.3%	33.8%	35.4%	33.2%
H26年度	36.3%	35.8%	33.9%	33.8%

＝ 1日の飲酒量の割合(%) ＝

H28年度		藤岡市	同規模市(平均)	県	国
	1合未満	37.2%	64.5%	46.4%	64.1%
	1～2合	40.4%	23.9%	36.2%	23.8%
	2～3合	18.6%	9.2%	14.0%	9.3%
	3合以上	3.8%	2.5%	3.5%	2.7%
H27年度		藤岡市	同規模市(平均)	県	国
	1合未満	38.3%	64.8%	46.0%	64.2%
	1～2合	39.4%	23.7%	36.3%	23.8%
	2～3合	18.3%	9.1%	14.1%	9.3%
	3合以上	4.0%	2.4%	3.6%	2.7%
H26年度		藤岡市	同規模市(平均)	県	国
	1合未満	38.7%	64.7%	46.6%	64.2%
	1～2合	39.5%	23.7%	36.0%	23.8%
	2～3合	16.6%	9.1%	13.8%	9.3%
	3合以上	5.2%	2.4%	3.6%	2.7%

＝ 貧血の既往歴のある方の割合(%) ＝

	藤岡市	同規模市(平均)	県	国
H28 年度	14.5%	10.1%	11.6%	10.1%
H27 年度	15.8%	10.2%	12.0%	10.2%
H26 年度	15.5%	12.2%	9.8%	9.9%

＝ 基本情報の特徴 ＝

1	人口構成 67,001 人（0～39 歳 37.3%、40～64 歳 34.0%、65～74 歳 15.1%、75 歳～13.5%）人口に対する高齢化率 28.6%が県 27.6%と比較し高い。
2	国保被保数 18,840 人（39 歳以下 25.5%、40～64 歳 33.9%、65～74 歳 40.7%）65 歳以上の国保加入率 40.7%が県 38.3%と比較し高い。
3	産業構成率は第 3 次産業が 58.6%を占めるが、第 2 次産業に従事する割合 36.2%が同規模平均 28.9%と比較し高い。
4	出生率 6.0%が同規模 7.8%と比較し低いいため、今後さらに高齢化率が高くなる。
5	死因としてがんが高く、脳疾患が H27 年から高くなっている。
6	生活習慣病で死亡する割合が高いが、生活習慣改善意欲無しの方の割合も 46.7%と、同規模 31.5%と比較し高く、改善意欲が低い。過去 3 年で同様の推移。
7	高血圧で服薬中の割合 36.8%が同規模 34.4%と比較し高い。過去 3 年で同様の推移。
8	1 日の飲酒量が、1～2 合 40.4%、2～3 合 18.6%、3 合以上 3.8%が同規模（23.9%、9.2%、2.5%）と比較し高い。過去 3 年で同様の推移。
9	貧血の既往歴のある人が、14.5%で同規模 10.1%と比較し高い。過去 3 年で同様の推移。

2 保健事業の状況

藤岡市では、広報誌及び健康講座等での健康情報の提供を広く市民全体に行い、健康に対する意識向上を図っていますが、教室は参加者が固定化する傾向にあります。また、医療受診勧奨値であるため受診を勧めてもなかなか受診につながらず、健康意識が低い状況にあります。

事業名	対象者	目的	事業内容	H28 実績	評価
特定健診 受診勧奨	市民(国保加入者)	健康増進	受診券の送付(40～74歳)や未受診者への再勧奨ハガキによる受診勧奨(40～64歳)	受診券 13,983 通 勧奨ハガキ 4,792 通	平成 28 年度 法定報告 33.5%
特定保健指導 利用勧奨	特定保健指導の対象となった人	生活習慣病 発症予防	通知による利用勧奨	利用勧奨者 積極的 83 人 動機づけ 327 人	平成 28 年度 法定報告 積極的支援 13.0% 動 機 づ け 支 援 25.8% 総合 23.3%
ハイリスク 訪問	特定健診で要 精検・要医療と なったものの 未受診の人	重症化予防	個別訪問にて、健診 後の容態確認や受 診勧奨	延べ 37 人	訪問がきっかけで 受診に結び付いた 人 1 人、他の対象 者には保健指導や 受診を確認した
健康運動教室	・前年度の健診 結果で保健指 導レベルの人 ・市民(公募)	健康教育	月 1 回健康運動指 導士による運動と 食生活等に関する 講話	12 回 延べ 85 人	事業参加者のアン ケートより、健康意 識の向上があり運 動習慣が身につい た人がいた。
オレンジゾ ン教室	健診において 血圧・血糖・脂 質に異常があ った人	重症化予防	血圧・血糖・脂質に ついての栄養や運 動指導を各項目ご とに実施	参加者数・率 血圧 4 人 参加率 6.8% 血糖 24 人 参加率 12.0% 脂質 14 人 参加率 8.7%	翌年度の健診結果 改善状況 血圧：維持 25% 血糖：維持 50%改 善 8.3% 脂質：維持 42.9% 悪化 7.1% 他は健診未受診や 国保離脱
栄養健康講座	市民(公募)	健康教育	「健康と食生活を 考えよう」をテーマ	10 回 延べ 134 人	アンケートより、講 座の中で学んだこ

			に栄養や運動の講話、調理実習		とを参加者全員が生活の中で活用しており、意識の向上が図れた。
地区調理教室	市民（公募）	健康教育 食育推進	減塩やメタボリックシンドローム予防に関する調理実習	延べ 327 人	意識の向上を図れ、参加者全員へのアンケートから理解度の確認が出来た。
集団健康教育	市民（公募）	健康教育	歯周疾患検診時や骨粗鬆症事後教室、その他要望を受けた出前講座等で健康教育を実施。 また、健診受診者や子供の健診に来た母親、各教室参加者にパンフレットを使った説明で健康教育を実施した。	延べ 569 人	健診後の事後指導により、必要な受診行動や健康相談に結び付いた。
総合健康相談	市民（公募）	健康相談 栄養相談	食事や健康についての相談（電話も含む）	延べ 1242 人	周知により利用者は増加している。多くが単発の相談であるが、ケースによっては継続して関わることで重症化を予防している。
合同研修会	健康推進員、食生活改善推進員	健康教育	講師による健康に関する講演等	7 回 延べ 507 人	参加者の感想より、知識や意欲の向上が図れた。今後地域の健康課題を見据えた講演等を実施する。
重点健康相談	健診で精密検査が必要になった人	健康相談 栄養相談	血圧や脂質等、健診で精密検査が必要となった方へ生活面での注意事項や紹介状の発行を行う。	延べ 766 人	精検受診率 胃がん 88.7% 大腸がん 82.4% 肺がん 92.9% 子宮頸がん 100% 乳がん 98.5%

糖尿病教室	市民（公募）	健康教育	保健師・栄養士による糖尿病予防に関する講話や運動の実践、調理実習	全3回 延べ 54 人	特定健診 70.3% 半年後のアンケートより、生活習慣の改善を続けている人が多く意識の向上が図れた。
出前講座 （歯と口の健康）	介護施設職員、 学生、市民	健康教育	歯科医師による歯と口の健康づくりの出前講座	10 会場 延べ 387 人	参加者の感想より、口腔衛生に対する知識や意欲の向上が図れた。

＝既存事業分析の特徴＝

1	特定健診、特定保健指導は未受診者に対して再勧奨をしているが、受診率は伸びていない。
2	オレンジゾーン教室においては、特に血圧に関して参加者が少ない。
3	特定保健指導の対象において、繰り返し対象になってしまう人が多い。
4	受診勧奨レベルであっても、放置していたり、自己判断で未受診の人が多く、訪問しても受診行動に結び付きにくい。
5	健康相談日を設けているが、利用者が少ない。
6	各教室において、参加者が集まりにくい。
7	各教室に参加した人の意識の向上や、健康状態の悪化予防は図れている。

第2章 健康課題の抽出

1 医療費の状況

医療費の割合は、慢性腎不全（透析あり）、糖尿病、高血圧症、脂質異常症が上位を占め、糖尿病に関連する疾病が高い傾向にあります。また、高額な治療費が継続的にかかる人工透析患者も増加傾向にあります。

○全体の医療費（入院）を 100%とした場合の上位疾患名（H28 年度）

1	統合失調症	7.8%	6	うつ病	2.4%
2	慢性腎不全(透析あり)	7.5%	7	関節疾患	2.5%
3	糖尿病	6.3%	8	狭心症	2.1%
4	高血圧症	4.9%	9	大腸がん	2.0%
5	脂質異常症	2.9%	10	不整脈	1.9%

○藤岡市と群馬県における医療費の割合（H28 年度）

	藤岡市	同規模	群馬県
がん	21.6%	25.0%	22.8%
精神	21.0%	17.6%	18.9%
慢性腎不全 （透析有）	13.1%	9.5%	10.5%
筋・骨格	11.5%	14.9%	14.1%
糖尿病	10.7%	10.1%	10.2%

○生活習慣病の発症状況（入・外別）（平成 28 年度）

生活習慣 病分析	藤岡市	同規模	群馬県	国		藤岡市	同規模	群馬県	国
1 保険者当り生活習慣病の入院医療費点数（高い順、最大医療資源傷病名）					1 保険者当り生活習慣病の外来医療費点数（高い順、最大医療資源傷病名）				
がん	20,569,198	16,969,665	12,035,366	16,376,247	がん	13,149,449	15,267,957	11,178,012	14,692,979
精神	19,942,815	14,846,593	12,957,527	12,930,765	糖尿病	12,971,045	11,877,915	9,564,364	10,767,516
筋・骨格	6,510,873	7,316,100	5,461,951	6,934,878	高血圧症	10,330,121	10,298,197	8,027,066	9,319,641
脳梗塞	2,325,042	2,829,342	2,227,225	2,601,258	筋・骨格	9,697,274	12,292,858	8,867,112	11,899,100
脳出血	1,990,220	1,413,022	1,339,688	1,356,030	精神	8,680,686	7,599,079	6,195,800	7,379,872
狭心症	1,713,363	2,301,355	2,167,216	2,266,401	脂質異常症	6,793,499	6,638,878	5,087,370	6,294,063
糖尿病	1,014,957	1,031,595	745,533	952,421	狭心症	1,408,602	1,193,386	1,009,666	1,136,573
心筋梗塞	416,550	747,848	583,075	709,602	脳梗塞	675,058	840,947	592,442	772,361
動脈硬化症	198,584	149,499	98,463	150,582	高尿酸血症	194,383	137,350	89,750	135,867
高血圧症	161,436	286,400	151,537	252,748	脂肪肝	183,344	173,398	131,787	171,037

○介護保険の状況について(H28 年度)

	藤岡市	県	同規模	国
認定率	17.7%	17.9%	17.7%	18.6%

以下(単位：円)

1 件当たりの 介護給付費	69,818	66,559	63,449	60,388
要支援 1	8,143	10,452	10,354	10,518
要支援 2	9,975	14,975	15,155	15,135
要介護 1	37,284	40,585	39,983	38,630
要介護 2	50,805	51,397	50,246	48,340
要介護 3	86,791	86,051	83,561	79,925
要介護 4	119,558	110,949	111,336	105,406
要介護 5	144,126	131,888	127,440	119,435

○要介護者の有病率(H28 年度)

	藤岡市	県	同規模	国
心臓病	63.4%	62.0%	59.2%	57.7%
高血圧症	56.1%	54.9%	51.9%	50.7%
筋・骨格	54.9%	53.0%	50.9%	50.3%
精神	40.9%	36.7%	35.9%	35.3%
脂質異常症	31.2%	27.9%	27.8%	28.6%
脳疾患	26.4%	27.3%	25.7%	25.0%
糖尿病	24.9%	23.1%	22.1%	22.2%
認知症(再掲)	24.2%	22.9%	22.8%	22.1%
アルツハイマー病	21.2%	18.9%	18.6%	18.0%
がん	10.2%	9.2%	10.1%	10.4%

＝レセプト情報の特徴＝

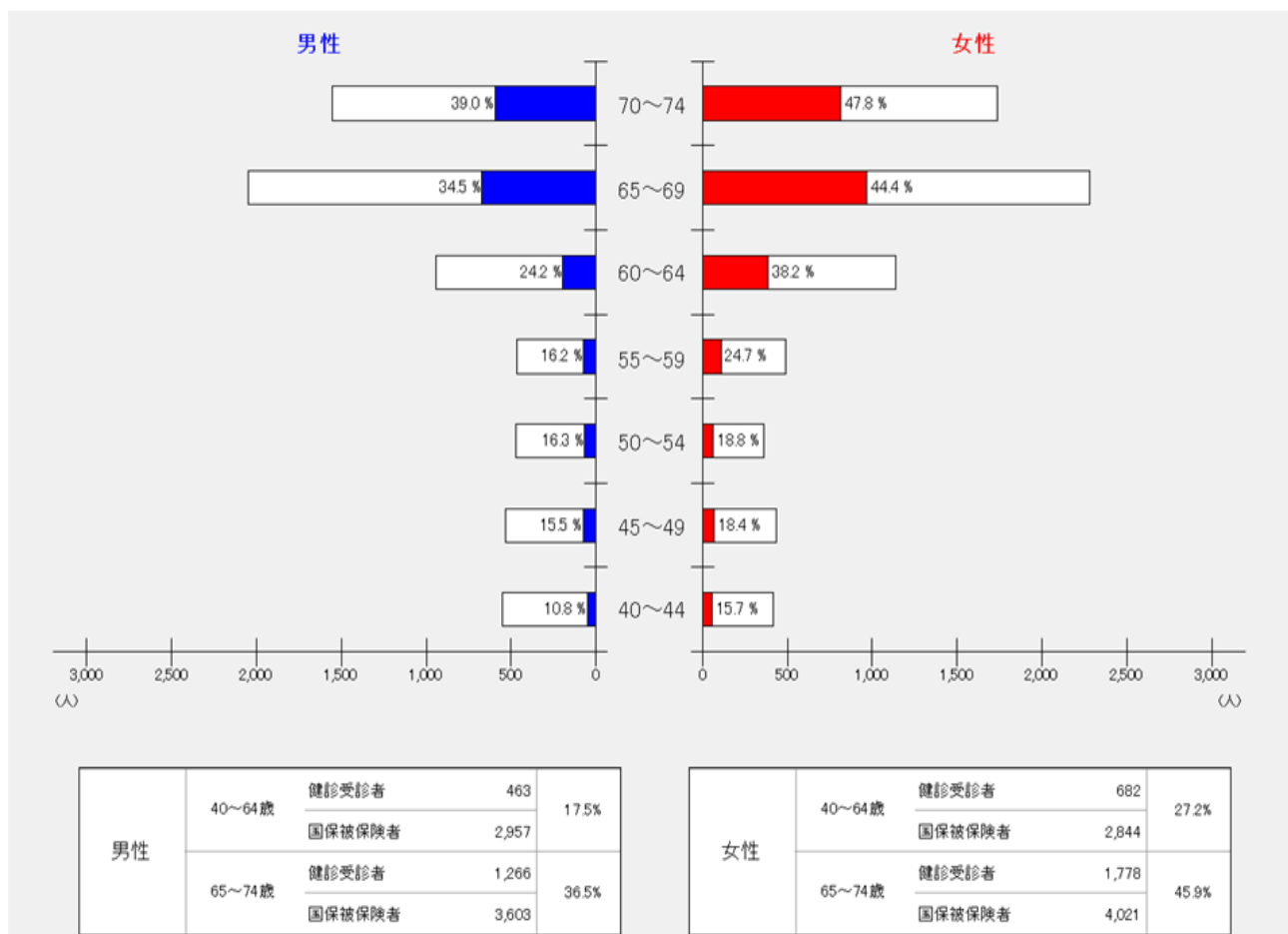
1	全体の医療費割合で、慢性腎不全（透析あり）7.5%、糖尿病 6.3%、高血圧症 4.9%、脂質異常症 2.9%が上位を占める。
2	医療費の割合については、県と比較すると、慢性腎不全（透有）13.1%の割合が高い。（県 10.5%）
3	精神による医療費が、入院・外来共に県や同規模と比較し高い。
4	生活習慣病の入院医療費点数について、藤岡市は国や県と比較すると、がん 20,569,198 点、脳出血 1,990,220 点、糖尿病 1,014,957 点、動脈硬化症 198,584 点が高くなっている。
5	生活習慣病の外来医療費点数について、藤岡市は国や県と比較すると、糖尿病 12,971,045 点、高血圧 10,330,121 点、脂質異常症 6,793,499 点、狭心症 1,408,602 点、高尿酸血症 194,383 点、脂肪肝 183,344 点などが高くなっている。
6	人工透析のレセプト分析から、透析患者が糖尿病を併発している割合は 53.4%、高血圧症 90.4%、高尿酸血症 41.1%、脂質異常症 42.5%となっている。
7	透析患者が増加傾向にある。 （平成 28 年 1 月：73 人、平成 29 年 1 月：77 人）
8	1 件当たり介護給付費 69,818 円は県 66,559 円、同規模 63,449 円、国 60,388 円と比較し高い。要介護 3 からは介護度が高くなるに伴い 1 件あたりの介護給付費も同規模・県・国と比較して高くなっている。
9	要介護者の有病率は、県や同規模と比較し高い。 （糖尿病 24.5%、同規模 21.9%、心臓病 62.6%、同規模 59.1%と高い。）

2 特定健康診査等の実施状況

平成 28 年度受診者数は 4,167 人、受診率 33.5%（H28 年度法定報告より）と特定健診の受診率が低迷しているため、未受診者に勧奨通知を発送していますが、健診受診者が固定化する傾向にあります。また、年齢階層別受診率をみると、特定健康診査の目的である生活習慣病を早期発見、予防を行うのに重要な 40 歳代と 50 歳代の受診率が低く、年齢層が高くなるほど、受診率が高くなる傾向があります。

○特定健診受診状況と構成（H28 年度）

厚生労働省様式
 保険者番号 : 100099 (様式6-9) 健診受診状況(被保険者数及び健診受診者のピラミッド)
 保険者名 : 藤岡市



出典：国保データベースシステム(KDB)

○健診の状況（H28 年度）40～74歳

健診（受診率、メタボ、予備群、非肥満高血糖、特定保健指導実施率）

平成28年度

受診率			メタボリック			メタボリック予備群		
	男	女		男	女		男	女
保険者	28.3%	38.6%	保険者	26.2%	8.9%	保険者	19.0%	5.5%
県	36.5%	45.6%	県	28.4%	10.3%	県	17.0%	5.9%
同規模	35.6%	43.0%	同規模	27.5%	9.9%	同規模	17.1%	5.9%
国	32.9%	39.6%	国	27.5%	9.5%	国	17.2%	5.8%
非肥満高血糖			特定保健指導実施率					
	男	女		男	女			
保険者	8.8%	8.5%	保険者	20.0%	29.9%			
県	10.1%	11.4%	県	10.3%	13.8%			
同規模	9.4%	10.4%	同規模	28.4%	33.7%			
国	9.0%	9.6%	国	19.4%	24.4%			

平成27年度

受診率			メタボリック			メタボリック予備群		
	男	女		男	女		男	女
保険者	28.1%	40.1%	保険者	24.3%	8.5%	保険者	17.5%	6.0%
県	36.3%	45.5%	県	27.4%	10.0%	県	17.2%	5.9%
同規模	35.1%	42.5%	同規模	26.5%	9.6%	同規模	17.1%	5.9%
国	32.6%	39.2%	国	26.6%	9.2%	国	17.1%	5.8%
非肥満高血糖			特定保健指導実施率					
	男	女		男	女			
保険者	8.9%	7.3%	保険者	20.4%	28.1%			
県	9.7%	10.8%	県	10.7%	14.2%			
同規模	9.3%	10.0%	同規模	26.7%	32.2%			
国	9.0%	9.4%	国	18.9%	23.8%			

平成26年度

受診率			メタボリック			メタボリック予備群		
	男	女		男	女		男	女
保険者	28.3%	40.0%	保険者	23.6%	8.7%	保険者	17.9%	5.6%
県	35.4%	44.7%	県	26.4%	9.8%	県	16.8%	6.0%
同規模	34.0%	41.5%	同規模	25.9%	9.5%	同規模	17.0%	6.0%
国	31.7%	38.4%	国	26.1%	9.2%	国	17.1%	5.8%
非肥満高血糖			特定保健指導実施率					
	男	女		男	女			
保険者	9.0%	7.5%	保険者	18.3%	24.7%			
県	9.8%	10.3%	県	10.3%	13.6%			
同規模	9.3%	9.7%	同規模	25.6%	31.1%			
国	8.9%	9.1%	国	18.9%	24.1%			

〇がん検診受診率（40～69 歳） 出典：地域保健・健康増進事業報告

		胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
平成 28 年度	藤岡市	8.0%	14.5%	8.6%	17.4%	23.8%
	全国	8.6%	7.7%	8.8%	16.4%	18.2%
平成 27 年度	藤岡市	3.3%	15.9%	9.3%	18.0%	23.9%
	全国	6.3%	11.2%	13.8%	23.3%	20.0%

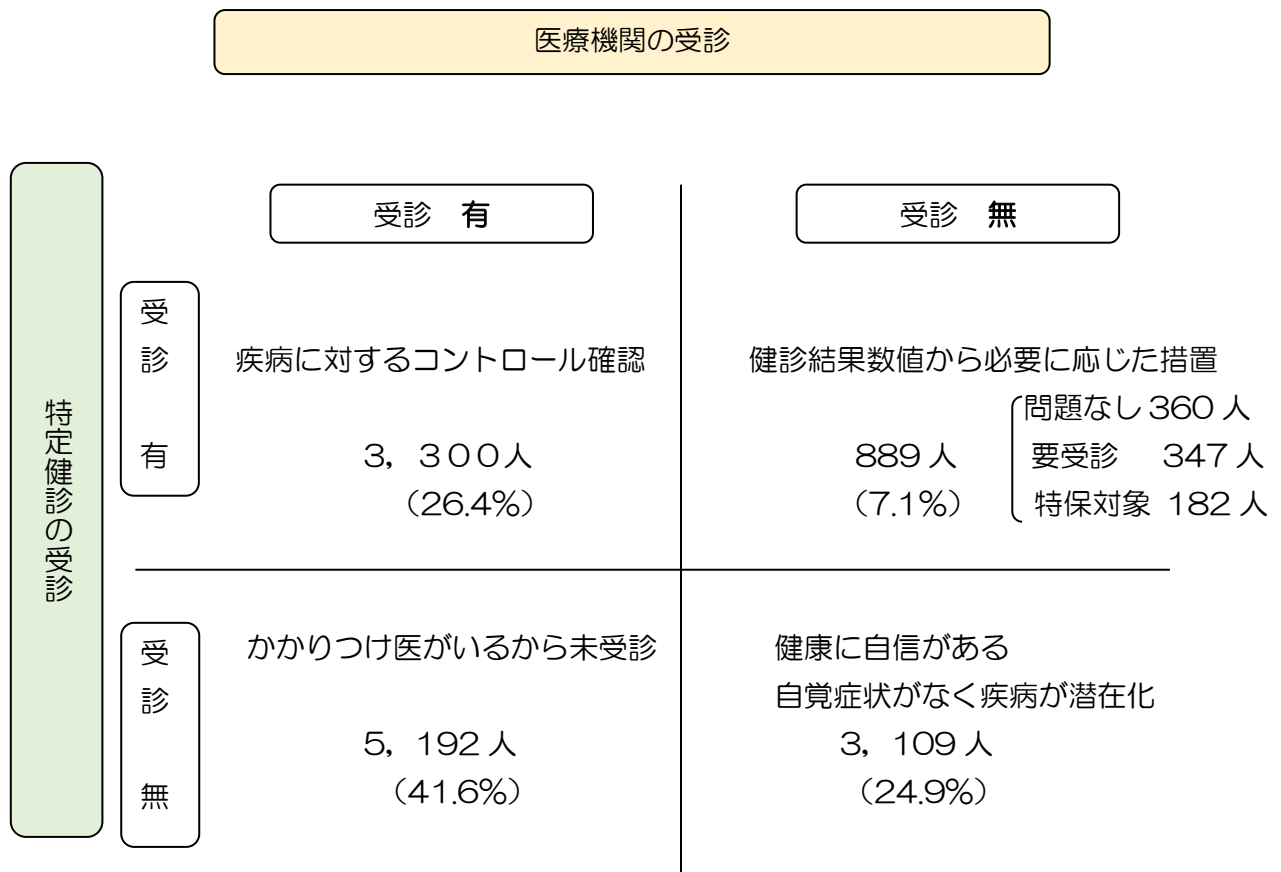
〇健診情報の特徴

1	男性の 40～74 歳の受診率が 28.3%で、国 32.9%、県 36.5%と比べ低く、同じく女性の 40～74 歳の受診率も 38.6%で、国 39.6%、県 45.6%と比べると低い。
2	年齢階層別の受診率では、男性の 40～44 歳が 10.8%、女性の 40～44 歳が 15.7%と若い層の受診率が低くなっている。
3	男性のメタボリック該当者が、平成 27 年度は 24.3%だったが、平成 28 年度は 26.2%に上昇している。

4	男性のメタボリック予備群については、19.0%で上昇傾向であり、同規模 17%、県 16.8%、国 17.2%と比べても高くなっている。
5	女性の非肥満時の高血糖が、平成 27 年度は 7.3%だったが、平成 28 年度は 8.5%と増加傾向にある。
6	胃がん、大腸がん検診の受診率は国の平均よりも低い。

3 糖尿病の罹患者数と健診受診状況について（H28 年度）

○健診対象者 12,490 人



健診情報の特徴

1	健診未受診で医療の受診がなく、健康情報が全く把握できていない人がある。 (24.9%)
2	健診未受診者の中では、かかりつけ医がいることが多い。

4 特徴と対策の方向性

特 徴

基本情報	1	人口構成 67,001 人（0～39 歳 37.3%、40～64 歳 34.0%、65～74 歳 15.1%、75 歳～13.5%）人口に対する高齢化率が 28.6%と県の 27.6%と比較し高い。
	2	国保被保険数 18,840 人（39 歳以下 25.5%、40～64 歳 33.9%、65～74 歳 40.7%）65 歳以上の国保加入率 40.7%が県 38.3%と比較し高い。
	3	産業構成率は第 3 次産業が 58.6%を占めるが、第 2 次産業に従事する割合 36.2%が同規模平均 28.9%と比較し高い。
	4	出生率 6.0%が同規模 7.8%と比較し低いため、今後さらに高齢化率が高くなる。
	5	死因としてがんが高く、脳疾患が H27 年から高くなっている。
	6	生活習慣病で死亡する割合が高いが、生活習慣改善意欲無しの方の割合も 46.7%と、同規模 31.5%と比較し高く、改善意欲が低い。過去 3 年で同様の推移。
	7	高血圧で服薬中の割合 36.8%が同規模 34.4%と比較し高い。過去 3 年で同様の推移。
	8	1 日の飲酒量が、1～2 合 40.4%、2～3 合 18.6%、3 合以上 3.8%が同規模（23.9%、9.2%、2.5%）と比較し高い。
	9	貧血の既往歴のある人が、14.5%で同規模 10.1%と比較し高い。過去 3 年で同様の推移。

既存事業分析	1	特定健診、特定保健指導は、未受診者に対して再勧奨をしているが、受診率は伸びていない。
	2	オレンジゾーン教室の血圧に関しては、参加者が少ない。
	3	特定保健指導の対象に、繰り返し対象になってしまう人が多い。
	4	受診勧奨レベルであっても、放置して自己判断で未受診の人が多く、訪問しても受診行動に結び付きにくい。
	5	健康相談日を設けているが、利用者が少ない。
	6	各教室において、参加者が集まりにくい。
	7	各教室に参加した人の意識の向上や、健康状態の悪化予防は図れている。

レセプト情報

1	全体の医療費割合で、慢性腎不全（透析あり）7.5%、糖尿病 6.3%、高血圧症 4.9%、脂質異常症 2.9%が上位を占める。
2	医療費の割合については、県と比較すると、慢性腎不全（透有）13.1%の割合が高い。（県 10.5%）
3	精神による医療費が、入院・外来共に県や同規模と比較し高い。
4	生活習慣病の入院医療費点数について、藤岡市では、がん 20,569,198 点、脳出血 1,990,220 点、糖尿病 1,014,957 点、動脈硬化症 198,584 点が高くなっている。
5	生活習慣病の外来医療費点数については、糖尿病 12,971,045 点、高血圧 10,330,121 点、脂質異常症 6,793,499 点、狭心症 1,408,602 点、高尿酸血症 194,383 点、脂肪肝 183,344 点などが高くなっている。
6	人工透析のレセプト分析から、透析患者が糖尿病を併発している割合は 57.6%、高血圧症 94.8%、高尿酸血症 44.2%、脂質異常症 41.6%となっている。
7	透析患者が増加傾向にある。 （平成 28 年 1 月：73 人、平成 29 年 1 月：77 人）
8	1 件当たり介護給付費 69,818 円は県 66,559 円、同規模 63,449 円、国 60,388 円と比較し高い。介護度が高くなるに伴い 1 件あたりの介護給付費も同規模・県・国と比較して高くなっている。
9	要介護者の有病率は、県や同規模と比較し高い。 （糖尿病 24.5%、同規模 21.9%、心臓病 62.6%、同規模 59.1%と高い。）

健診情報

1	男性の 40～74 歳の受診率が 28.3%で、国 32.9%、県 36.5%と比べ低く、同じく女性の 40～74 歳の受診率も 38.6%で、国 39.6%、県 45.6%と比べると低い。
2	年齢階層別の受診率では、男性の 40～44 歳が 10.8%、女性の 40～44 歳が 15.7%と若い層の受診率が低くなっている。
3	男性のメタボリック該当者が、平成 27 年度は 24.3%だったが、平成 28 年度は 26.2%に上昇している。
4	男性のメタボリック予備群については、19.0%で上昇傾向であり、同規模 17%、県 16.8%、国 17.2%と比べても高くなっている。
5	女性の非肥満時の高血糖が、平成 27 年度は 7.3%だったが、平成 28 年度は 8.5%と増加傾向にある。
6	胃がん、大腸がん検診の受診率は国の平均よりも低い。
1	健診未受診で医療の受診がなく、健康情報が全く把握できていない人がいる。 （24.9%）
2	健診未受診者の中では、かかりつけ医がいることが多い。

対策の方向性

がん早期発見による医療費削減
特定健診受診率増加
生活習慣病の予防

- ・ 特定健診受診率が低迷しており、未受診者への勧奨方法、継続受診の勧奨方法を検討する必要がある。
- ・ がんと脳疾患の死亡率や入院医療費点数が高いため、予防が必要である。
- ・ 対象者となった人が利用しやすい条件を検討し、特定保健指導の実施率を上げる対策を講じる必要がある。
- ・ 非肥満の高血糖者への働きかけが必要である。
- ・ 健康意識が低い人への働きかけの方法を検討する必要がある。
- ・ 1日の飲酒量が多いことから節酒の意識向上を図る必要がある。
- ・ 健診受診率で、若年層の受診率が低いため、重点的に対策を講じる必要がある。
- ・ 医療費割合で、慢性腎不全（透析あり）、糖尿病、高血圧症、脂質異常症が上位を占めており、人工透析を受けている人の多くや、要介護者の有病状況をみても、糖尿病や高血圧を併発しているケースが多いため、生活習慣病予防が必要である。



生活習慣病の改善を全体のテーマとし、
特定健診及びがん検診受診率の向上

第3章 計画の目的・目標

1 健康寿命

被保険者一人ひとりが健康づくりに興味や関心を持ち、自身の健康状態を把握すること、長く健康であることを意識して日々の生活を送るなど、健康寿命の延伸を図ることが重要です。

2 目標

＜中長期目標＞

市民がかかりつけ医を持つことで健康意識を高め、疾病の早期発見・早期治療に結び付くことを目指します。そして生活習慣病やがんの発症を予防すること、また疾病の重症化を予防することによって医療費の適正化を目指します。

＜短期目標＞

- * 疾病の早期発見・早期治療に結び付けるために、特定健診・がん検診の受診率や特定保健指導の実施率向上のための受診勧奨・再勧奨や周知活動を医療機関や他の組織と協力し実施します。
- * 医療費割合の高い人工透析患者を増やさないために医師会と連携し、糖尿病患者の継続した受診と重症化予防のため専門医への受診ルートを構築し、糖尿病の発症予防と重症化予防に努めます。
- * 各保健事業を実施し評価指標を達成することで、効果の高い事業を実施します。

第4章 保健事業の実施計画

○各種個別事業の実施計画

事業名	対象者	事業内容	H35 年度目標
集団健康教育	市民を対象に実施	病態別の健康教育や、各種健（検）診の周知等	法定報告受診率 35.1 % 初めて受講する人の増加 参加者全員の健康意識の向上
総合健康相談	市民を対象に実施	食事や健康についての個別相談（電話も含む）	
合同研修会	関係団体に実施	講師による健康に関する講演等	
特定健診 受診勧奨	国保加入者を対象に実施	受診券の送付と勧奨ハガキによる受診再勧奨 医療機関への周知と医療機関から患者への周知	
糖尿病教室	市民（公募）を対象に実施	保健師・栄養士による糖尿病予防に関する講話や運動の実践、調理実習	
CKD予防教室	市民を対象に実施	保健師・栄養士によるCKDの予防や重症化予防に関する講話等	
特定保健指導 利用勧奨	国保加入者を対象に実施	通知による利用勧奨	法定報告終了率 30.5%
ハイリスク訪問	市民を対象に実施	個別訪問で検診後の容態確認や受診勧奨	訪問実施者の10%が受診に結び付く
各種がん検診	各検診対象者へ実施	国の指針に基づく肺がん、胃がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん・甲状腺がん検診の実施	検診受診率（国民生活基礎調査において）50% 精密検査受診率が国の示す許容値をクリアする
健康運動教室	市民（公募）と前年度の健診結果で要指導の人	月1回健康運動指導士による運動と食生活等に関する講話	教室に参加した人の中で前年度健診結果が要指導であった人の50%が翌年の結果で数値が改善・維持されている
オレンジゾーン 教室	健診結果で要指導レベル	血圧・血糖・脂質についての栄養や運動指導等	教室参加者の70%が翌年の健診結果で数値が改善または現状維持している

栄養健康講座	市民（公募）を対象に実施	「健康と食生活を考えよう」をテーマに栄養や運動の講話、調理実習	参加者全員が翌年度地域の改善推進員として地域の健康づくりに参加する
地区調理教室	市民（公募）を対象に実施	減塩やメタボリックシンドローム予防に関する調理実習	参加者の理解度・満足度が高い
糖尿病重症化予防プログラムの医療連携の構築	市民	医療機関と連携し、特定健診の結果によって糖尿病の重症化予防や腎臓病の発症・重症化予防をする	新規透析患者の減少
出前講座 （歯と口の健康）	市民（施設職員や学生）を対象に実施	歯科医師や歯科衛生士による歯と口の健康づくりの出前講座	新規受け入れ施設の増加
重点健康相談	市民を対象に実施	血圧や脂質等、健診で精密検査が必要となった方へ生活面での注意事項や紹介状の発行を行う。	全てのがん検診の精密検査受診率が国の示す許容値をクリアする

第5章 保健事業計画（データヘルス計画）の公表・周知

この計画は、市ホームページに掲載し公表します。また、関係機関・団体への配布や国保窓口等で閲覧できる体制を整える等で周知をはかります。

第6章 事業運営上の留意事項

この計画の事業を実施運営するにあたっては、市役所内部の協力が重要となることから、国保部門と保健部門との連携を強化するとともに、介護部門等関係部署と共通認識をもって、課題解決に取り組むものとします。

第7章 個人情報の保護

この計画で実施する保健事業の実施及び評価で使用する医療・健康情報の取り扱いについては、個人情報の保護に関する法律及びこれに基づくガイドライン、藤岡市個人情報保護条例に基づいて行います。

